



北海道東川養護学校 学校運営協議会会議録

令和6年度第2回学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和6年12月2日(月)	場所	東川養護学校 校長室
出席委員	蔦森 英史(北海道教育大学 旭川校 准教授) 下込 純平(東川町教育委員会 学校教育課推進室 室長) 猪俣 英治(新栄町内会長) 新保 博嗣(北海道東川養護学校 PTA 会長) 小島 聖子(スクールソーシャルワーカー)		
本校職員	業天 誉久(北海道東川養護学校長) 渡邊 憲幸(北海道東川養護学副校長) 三瓶 聡(北海道東川養護学校教頭) 田村 臣太郎(北海道東川養護学校事務長) 本母 世跳(北海道東川養護学校主幹教諭)		
会議の概要	<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 学校運営状況の説明・協議</p> <p>■地域資源を活用した「農福連携」の取組について</p> <p>株式会社丸巴での椎茸栽培作業について説明を行った。委員からは高等部生徒の進路について質問があり、ほぼ全員の進路先が福祉的就労となっていることが報告された。校長は地域との連携を強化し、ジョブマッチングを推進していく考えを示した。</p> <p>■アンケートを通したいじめ防止の取組について</p> <p>6月と10月のアンケートの比較による結果について報告を行った。委員からは困ったときに誰かを頼ることの重要性や地域としてのあいさつ運動の意義について意見が出された。校長はこれを授業に反映させていく意向を示した。</p> <p>■中間反省について説明</p> <p>各学部、分掌部の中間反省(全体に関わる内容)について報告を行った。各学部の中間反省の内容が報告された。委員からは学校のプールが使用できていないことについて質問があり、老朽化が原因であると学校より説明を行った。配布物の誤りや個人情報の取り扱いについては、流出防止の方策をどのように行っていくかについて協議が行われた。</p> <p>■学校評価(集計結果のみ)について</p> <p>学校評価については集計結果(数値の前年度との比較)について報告を行った。</p> <p>(3) 協議・検討</p> <p>スクールカウンセラーの配置、子どもたちの相談体制、教職員の業務負担の改善、「働き方改革」やICTのクラウド化について協議が行われた。</p>		

(4) 校長謝辞

